HEWLETT®
PACKARD
Expanding Possibilities

HP OpenPix
入門ガイド

1998 年 12 月

注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 本書は内容について細心の注意をもって作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がございましたら当社までお知らせください。
3. 当社は、お客様の誤った操作に起因する損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 当社では、本書に関して特殊目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。
5. また、備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。
6. 当社提供外のソフトウェアの使用や信頼性についての責任は負いかねます。
7. 本書の内容の一部または全部を、無断でコピーしたり、他の言語に翻訳することは法律で禁止されています。
8. この製品パッケージとして提供した本書、ディスク等の媒体はこの製品のためだけにお使いください。
9. プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。
10. プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

© copyright 1998 Hewlett-Packard Company

© copyright 1998 日本ヒューレット・パッカード株式会社

本書には著作権によって保護されている内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作権の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下のでの許可事項を除き、禁止されています。

All rights reserved.

Windows NT、Internet Information Server (IIS)、Java、および Active Server Pages は、各社の商標または登録商標です。その他一般に各会社名、各製品名は各社の商品、商標または登録商標です。

出版履歴

出版の日付は、最新版が発行されるたびに変更します。内容の小さな変更に対しては、増刷の際に対応し、出版日の変更は行いません。マニュアルのパーツ番号は、変更が行われるたびに変更します。

新版の作成は、記載内容の訂正もしくはドキュメント製品の変更にともなって行われます。お手元のマニュアルが最新のものであるかは、担当の営業に確認してください。

1998 年 12 月・・・第 1 版

原典

このマニュアルは『HP OpenPix Getting Started』を翻訳したものです。

納入後の保証について

1. 保証の期間は、ご購入時に当社よりお出しした見積書に記載された期間とします。保証サービスは、当社の定める休日を除く月曜日から金曜日までの、午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分の範囲で無料で行います。当社で定めたシステム製品については出張修理を行い、その他の製品については当社にご返却いただいた上での引取り修理となります。当社が定める地域以外における出張修理対象製品の修理は、保証期間中においても技術者派遣費が有料となります。

2. ソフトウェア製品の保証は上記にかかわらず、下記に定める範囲とさせていただきます。

    • ソフトウェア製品およびマニュアルは当社が供給した媒体物の破損、資料の落丁およびプログラム・インストラクションが実行できない場合のみ保証いたします。

    • バグおよび前記以外の問題の解決は、別に締結するソフトウェア・サポート契約に基づいて実施されます。

3. 次のような場合には、保証期間内でも修理が有料となります。

    • 取扱説明書等に記載されている保証対象外部品の故障の場合。

    • 当社が供給していないソフトウェア、ハードウェア、または補用品の使用による故障の場合。

    • お客様の不適当または不十分な保守による故障の場合。

    • 当社が認めていない改造、酷使、誤使用または誤操作による故障の場合。

    • 納入後の移設が不適切であったための故障または損傷の場合。

    • 指定外の電源 (電圧、周波数) 使用または電源の異常による故障の場合。

    • 当社が定めた設置場所基準に適合しない場所での使用、および設置場所の不適当な保守による故障の場合。

    • 火災、地震、風水害、落雷、騒動、暴動、戦争行為、放射能汚染、およびその他天災地変等の不可抗力的事故による故障の場合。

4. 当社で取り扱う製品は、ご需要先の特定目的に関する整合性の保証はいたしかねます。また、そこから生じる直接的、間接的損害に対しても責任を負いかねます。

5. 当社で取り扱う製品を組み込みあるいは転売される場合は、最終需要先における直接的、間接的損害に対しては責任を負いかねます。

6. 製品の保守、修理用部品の供給期間は、その製品の製造中止後 5 年間とさせていただきます。

7. 本製品の修理については取扱説明書に記載されている最寄の事業所へお問い合わせください。

目次

本書の使用方法 ix

第 1 章　OpenPix とは

OpenPix のオーサリング・コンポーネント 1-1

ImageIgniter サーバ・コンポーネント 1-2

OpenPix ビューアー 1-3

OpenPix の設定および使用プロセスの概略 1-4

第 2 章　OpenPix のインストール

インストール対象の決定 2-1

システム条件 2-1

OpenPix のインストール手順 2-2

第 3 章　OpenPix コンテンツの作成

イメージ・タグと OpenPix 3-1

OpenPix の属性 3-3

OpenPix イメージのパス 3-8

OpenPix に最適化されたイメージ 3-10

第 4 章　OpenPix の管理の概略

OSM の起動 4-1

OSM の使用 4-3
イメージ・レポーターの使用 4-5

本書の使用方法

本書では、HP OpenPix ImageIgniter 3.0 を簡単に紹介します。本書で、ソフトウェアのインストール、OpenPix コンテンツの作成、ImageIgniter サーバの管理の方法を簡潔に説明します。

- 第 1 章では、OpenPix の機能の仕組みを概説します。
- 第 2 章では、ソフトウェアのインストール方法を説明します。
- 第 3 章では、OpenPix コンテンツの作成方法を説明します。OpenPix のイメージ・タグの属性表が掲載されています。
- 第 4 章では、ImageIgniter サーバの管理ツールである、OpenPix サービス・マネージャ (OpenPix Service Manager : OSM) を紹介します。さらに、イメージ・レポーターを使って OpenPix イメージの使用状況のレポートを入手する方法も説明します。

OpenPix の他の 2 冊のマニュアルは、OpenPix についての詳細な説明を提供します。『HP OpenPix オーサリング・ガイド』では、OpenPix の作成者を対象にツールと拡張機能のすべてを説明します。『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』は、ImageIgniter サーバのインストールと管理を担当する Web の管理者を主な対象としています。

本書の発行後に公表された情報については、OpenPix Web サイトのリリースノートを参照してください。

`http://image.hp.com/updates/index.html`

第 1 章　OpenPix とは

ヒューレット・パッカード社の OpenPix ImageIgniter は、オーサリング、サーバ、ビューイングの各コンポーネントを持つイメージ配送システムです。OpenPix が Web ページ上で起動するイメージは、通常のインターネット・イメージでは得られない高い対話性を、ユーザーに提供します。ユーザーは OpenPix のツールバーを使って、イメージのズーム・イン、ズーム・アウト、パン、保存、印刷ができます。

OpenPix のオーサリング・コンポーネント

OpenPix のオーサリング・システムは、HTML 標準のイメージ・タグに新しい属性を追加します。これらの属性は、OpenPix イメージとその表示方法を定義します。ブラウザで HTML 文書を表示すると、OpenPix のイメージ・タグは ImageIgniter サーバを呼び出します。サーバはタグを解釈して、サーバからのイメージを対話的に表示するビューアーを呼び出します。

OpenPix のコンテンツを作成する方法は、オーサリング・ツールを使う方法と手動で HTML 文書を作成する方法があります。3 つの主要オーサリング・ツールの Allaire HomeSite、Macromedia Dreamweaver、Microsoft FrontPage には拡張機能が用意されています。スタンド・アローンの補助アプリケーション (OpenPix オーサリング・アシスタント― Authoring Assistant)、およびシンプルな HTML フォームも利用できます。

OpenPix コンテンツには、FlashPix および JPEG 形式のイメージが使用できます。FlashPix は、インターネット上での対話性のために最適化された、タイル構造のイメージ・フォーマットです。

ImageIgniter **サーバ・コンポーネント**

ImageIgniter サーバには、システム管理、イメージ分析、イメージ・サービスのコンポーネントがあります。

- OpenPix サービス・マネージャ (OSM) は、ImageIgniter サーバを管理するための Web ベースのアプリケーションです。OSM を使用して、システム・ステータスの検査、設定パラメータの変更、問題の診断などのタスクを実行できます。
- OSM のイメージ・レポーター (Image Reporter) 機能を利用すれば、サイト上のイメージの使用状況を分析できます。
- ImageIgniter サーバは、最適化配送 (Adaptive Delivery) サービス、Internet Imaging Protocol (IIP) サービス、フラットイメージ配送 (FID) サービスの、3 つのイメージ・サービス・コンポーネントを備えています。
  - 最適化配送 (Adaptive Delivery) サービスは、クライアントのハードウェア・プラットフォームとブラウザの種類に基づいて、ビューアーを選択、配送します。作成者は、最適化配送 (Adaptive Delivery) を、対話性のため、もしくは印刷機能のために最適化できます。
  - IIP サービスは、サーバとビューアーの間で、HTML ページ中のイメージ・データを 64 x 64 ピクセルのタイル・イメージ・データとして転送します。IIP は、標準の HTTP 接続で使用できる業界標準のイメージ・データ・アクセス・プロトコルです。
  - FID サービスは、IIP サービスを利用できないブラウザのために、シンプルな JPEG イメージを生成します。ページ上のイメージの領域と解像度に基づいて、サーバでイメージが組み立てられます。

OpenPix **ビューアー**

クライアント・ビューアーは OpenPix イメージを対話的に表示します。3 種類のビューアー（ActiveX、Java、Netscape プラグイン）が用意されているため、多くのブラウザで OpenPix を最大限に利用できます。Netscape プラグインを除いて、ビューアーはクライアント・ブラウザに ImageIgniter サーバによって動的に提供されます。どのビューアーも利用できないブラウザに対しては、対話性のレベルが下がりますが、フラットイメージ配送 (FID) が JPEG イメージを、標準の HTTP 接続で配送します。

OpenPix の設定および使用プロセスの概略

本セクションでは、OpenPix の設定と使用に関する主な操作を概説します。

インストール

ImageIgniter サーバを Web サーバにインストールし、オーサリング・ツールの拡張機能とユーティリティーを複数のオーサリング・システムにインストールします。基本的な操作は本書の第 2 章を、詳細は『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』を参照してください。

作成

適切なツールで、Web サイトを開設または変更します。作成した高解像度のイメージを Web のコンテンツ・ツリーに追加します。ヒューレット・パッカード社のオーサリング・ツール拡張機能を使って、OpenPix イメージへの参照を組み込んでください。基本的な情報は本書の第 3 章を、詳細は『HP OpenPix オーサリング・ガイド』を参照してください。

登録

作成したコンテンツを、OpenPix サーバが稼働している Web サーバに登録します。特別な登録手続きは必要ありません。

管理

コンテンツの管理、サーバ・ステータスの検査、サーバ・アクティビティの監視には、OpenPix サービス・マネージャ (Service Manager) を使用します。基本的な情報は本書の第 4 章を、詳細は『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』の第 3 章を参照してください。

分析

サイトの OpenPix イメージの使用状況を分析するには、OpenPix サービス・マネージャ (Service Manager) のイメージ・レポーター機能を使います。頻繁に表示されたイメージとイメージの領域を確認してください。詳細は『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』の第 3 章を参照してください。

第 2 章　OpenPix のインストール

本章では、OpenPix をインストールするための基本操作を説明します。詳細は、『HP OpenPix オーサリング・ガイド』および『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』を参照してください。更新情報に関しては、http://image.hp.com にある OpenPix の Web サイトのリリースノートを参照してください。

インストール対象の決定

OpenPix のオーサリング・コンポーネントとサーバ・コンポーネントは、別々にインストールしても、一緒にインストールしても構いません (ビューイング・コンポーネントはサーバ・コンポーネントと一緒にインストールされます)。インストールするコンポーネントを選択できるので、システムをさまざまな目的に合わせて設定できます。

- オーサリングにのみ使用されるマシンに対しては、オーサリング・ツールとオーサリング拡張機能だけをインストールします。
- オーサリングとテストに使用されるマシンに対しては、オーサリング・コンポーネントとサーバ・コンポーネントの両方をインストールします。
- Web サイトの配備に使用されるマシンに対しては、サーバ・コンポーネントだけをインストールします。

システム条件

インストール対象がサーバ・コンポーネントか、オーサリング・コンポーネントかによって、システム条件は異なります。

- OpenPix ImageIgniter 3.0 サーバをインストールするには、IIS のバージョン 3 または 4 がインストールされ、動作している Windows NT サーバが必要です（IIS バージョン 3 には、Active Server Pages (ASP) が必要です)。インストールに必要なディスク・スペースは 20MB です。
- オーサリング・アシスタント (Authoring Assistant) とオーサリング・アシスタント・コンバーター (Authoring Assistant Converter) は、Windows 95、Windows 98、Windows NT のワークステーションおよびサーバ・マシンのいずれにでもインストールできます。OpenPix のオーサリング拡張機能をインストールするには、Macromedia Dreamweaver 1.0 以上、Allaire HomeSite 3.0 以上、Microsoft FrontPage 98 のいずれかを備えた Windows 95 または 98、あるいは Windows NT が必要です。OpenPix の HTML 生成フォーム (HTML Generation Form) は、Javascript を処理できるブラウザであれば、プラットフォームを問わず、どのブラウザでも使用できます。
- Windows 95、98、NT、UNIX あるいは Mac OS 上で完全にインタラクティブな表示と印刷を行うには、Microsoft Internet Explorer 3.02 以上、または Netscape Navigator 3.02 以上がクライアント側の条件となります。Windows 95、98、NT では AOL 3.0 もサポートされています。フラットイメージ配送 (FID) の基本機能は、JPEG イメージをサポートするブラウザであればどのブラウザでも利用できます。

OpenPix **のインストール手順**

OpenPix は、CD-ROM または OpenPix の Web サイトからダウンロードしたインストレーション・ファイルのいずれからでもインストールできます。インストーラの場所を除けば、手順は両者とも同じです。手順を示すウィザードに従ってください。

インストールの実行中、標準インストールとカスタム・インストールのいずれかを選択できます。標準インストールは、サーバ・コンポーネントとオーサリング・コンポーネントのすべてをインストールします。カスタム・インストールを選択すると、オーサリング・コンポーネントのみのインストールおよび、必要な個々のコンポーネントを選択してのインストールが可能になります。

ImageIgniter サーバは、1 台のマシンに複数の Web サーバが存在する、マルチホーム・インストールをサポートします。この場合、Web サーバのインスタンスごとにインストーラを個別に実行し、インストール先の Web サイトの IP アドレスとポートを指定しなければなりません。同様に 1 つの Web サーバが複数の IP アドレスをサポートする場合、インストーラは当該 ImageIgniter のインストールで使用する IP アドレスを指定するよう求めます。

サーバのインストール後、通常は、OpenPix のウェルカム・ページが表示されます。ウェルカム・ページから検査ツールと OpenPix サービス・マネージャ (OSM) へリンクされています。必要な場合は OSM を使って設定を変更できますが、特に設定の変更は必要ありません。ImageIgniter はデフォルトの設定で正しく動作します。OSM の使用に関する基本的な情報は本書の第 4 章を、詳細は『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』の第 3 章を参照してください。

サーバ・ソフトウェアのインストール後、ライセンス情報を入力しなければなりません。ライセンスとライセンス入力に関する指示は、電子メールで送付されます。ライセンスを入力するには、ライセンス・テキストを、電子メール・メッセージから、インストールされたディレクトリのライセンス・ファイル (opxflex.dat) にコピーします。詳細は、『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』の第 2 章を参照してください。オーサリングのみのインストールは、ライセンス・ファイルを必要としません。オーサリング・コンポーネントはインストール中に表示されるライセンスによって対応されています。

OpenPix **のインストール方法**

1 Windows NT にインストールする場合は、管理者としてログインします。

2 CD-ROM を挿入してインストーラを起動します。あるいはダウンロードしたインストレーション・ファイルの Setup.exe を起動します。

3 画面の指示に従ってインストールを完了させます。カスタム・インストールと標準インストールのいずれかを選択するよう求められたら、サーバ・コンポーネント、オーサリング・コンポーネント、あるいはこの両者の選択肢から、インストール対象を選択します。

第 3 章　OpenPix コンテンツの作成

OpenPix コンテンツは、OpenPix のイメージ・タグを HTML 文書に組み込むことで作成します。OpenPix のイメージ・タグには、表示するイメージと、表示方法に関するオプションを指定する属性が含まれています。OpenPix のイメージ・タグは、HTML 標準のイメージ・タグ属性と OpenPix 専用の属性で構成されます。

本章では、OpenPix コンテンツの作成に使用されるイメージ・タグ属性の意味を説明します。OpenPix 用イメージ・タグの挿入は、OpenPix オーサリング・アシスタント (Authoring Assistant) と Microsoft FrontPage 用、Allair HomeSite 用、Macromedia Dreamweaver 用の OpenPix の拡張機能、および OpenPix の HTML 生成フォーム (HTML Generation Form) で実行できます。また、手動での挿入も可能です。詳細は『HP OpenPix オーサリング・ガイド』を参照してください。

イメージ・タグと OpenPix

すべての HTML 文書では、イメージ・タグ (IMG) が表示されるイメージ・ファイル、そのサイズ、およびページ上の位置を決定します。OpenPix コンテンツのイメージ・タグも同じ働きをします。しかし、OpenPix コンテンツのイメージ・タグには、イメージの OpenPix 固有の特性を制御する属性が含まれています。

次の HTML の例は、OpenPix コンテンツの典型的なイメージ・タグを示しています。

```
<img Src="../images/kidsworld.JPG"
OPXSrc= "../images/kidsworld.fpx"
```

```
OPXVType="Auto"
OPXVStyle="popup"
BGColor="#FFFFFF"
Align="middle"
Alt="Kids with Globe Image"
Coords="0.0,0.0,1.0,1.0"
Width="260"
Height="268">
```

このイメージ・タグ（HTML の標準の書式もいくつか含む）で、図 3-1 に示されている、Web ページのイメージが生成されます。

Back to School with OpenPix - Netscape
File Edit View Go Window Help
Bookmarks Location: http://jc744082/example/with_op.html
KidShoppe.com
HEWLETT PACKARD
Expanding Possibilities
OpenPix
Showcase Products with OpenPix
Before OpenPix
OpenPix Ignited
Site Designs with OpenPix
Image Conversion
HP Image Converter
Popular Authoring Tool Integration
Personalize the Experience
Customize Promotions
Scripted Viewing
Administer with Ease
OpenPix Service Manager
Image
Put The Thrill Into Back to School with KidShoppe's Fall Extravaganza
Overalls have been updated with the latest colors. Green and black striped, 100% cotton denim, these overalls offer all the pockets a boy could need. Zippered bib pocket secures easily lost items, along with traditional pencil, front and back pockets. Sizes 6, 7, 8, 10, 12, 14,16. $30.00
Floral leggings and coordinating pink big shirt bring flower power to the classroom. Shirt 100% cotton, legging cotton/spandex. Sizes 6X, 7, 8, 10, 12, 14. $25.00
Sweatshirts are here to stay in all shapes and sizes all 100%, 100% durable.
Hooded sweatshirt with contrasting color band. Colors: navy/red (shown), red/yellow.
Polo style sweat with contrasting collar and cuff bands. Colors: yellow/navy (shown), navy/red, red/yellow.
Classic crew neck sweat.

図 3-1　OpenPix コンテンツを持つ Web ページ

OpenPix の属性

本セクションでは、OpenPix イメージのイメージ・タグに含まれる属性について説明します。OpenPix 固有の属性もあれば、HTML の標準の属性もあります。

タグには、ソース属性（ソースまたは OpenPix ソース）が最低 1 つは含まれなければなりません。さらにタイプ、ビューアーの長さ、ビューアーの幅の属性も必須です。この他の属性の使用は任意です。

ソース属性と OpenPix ソース属性

ソース属性 (Src) と OpenPix ソース属性 (OPXSrc) によって、表示対象の OpenPix イメージおよび、必要であればプレビュー・イメージが決定されます (オーサリング・ツールは、OpenPix サーバがなければイメージを表示できません。このためオーサリング・ツールは、WYSIWYG モードで作業が行われているときにプレビュー・イメージを表示します)。

オーサリング・ツールのプレビュー機能を使用する場合で、タグが FlashPix イメージを参照するときは、OpenPix ソース属性と通常のソース属性の両方を組み込みます。FlashPix イメージ用には OpenPix ソース属性を、プレビュー・イメージ用にはソース属性を使用してください。プレビューする必要がない場合や、JPEG イメージを参照する場合は、ソース属性だけを使用してください。ImageIgniter は、タグを正しく識別します。

OpenPix ソース属性の値は、FlashPix または JPEG イメージのパスと名前です。ソース属性が OpenPix イメージを指定するのに使用される場合は、この値もまた FlashPix または JPEG イメージのパスと名前になります。ソース属性をプレビュー・イメージ用に使用する場合は、ソース属性は FlashPix イメージを指定できません。

タイプ属性

タイプ属性 (OPXVType) は必須の属性で、これにより Web ページに表示される OpenPix ビューアーの種類が決まります。通常は、デフォルト値 (Auto) を使用してください。Auto と設定してあると、ImageIgniter サーバの最適化配送 (Adaptive Delivery) 機能が、ブラウザ用の最も対話性の高いビューアーを決定します。ただし、特定の動作やブラウザに対してページを最適化できます。

設定可能なビューアーの種類の値は次の通りです。

Auto	OpenPix サーバは、最高の対話性能を備え、できるだけイメージの印刷品質を維持するビューアーを選択します。
Interactive	現在は Auto と同じです。
Print	OpenPix サーバは、対話性をできるだけ高く維持しながら最高の印刷を行うビューアーを選択します。
ActiveX	OpenPix サーバは、可能な限り ActiveX コンポーネントを使用します。
JavaApplet	OpenPix サーバは、可能な限り Java アプレットを使用します。
FlatImage	OpenPix サーバは必ず、フラット JPEG イメージを配送します。
Plugin	OpenPix サーバは、可能な限り NetScape のプラグインを使用します。

HTML 文書のタイプ属性はすべて (デフォルトまたは明示的に指定されたもの)、サーバ・レベルでの選択で上書きできます。詳細は、『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』の第 3 章「最適化配送 (Adaptive Delivery) サービスの設定」を参照してください。

ビューアーの幅属性

必須のビューアーの幅属性 (Width) によって、ビューアーの幅がピクセル単位で決まります。ビューアーのサイズは必ずしもイメージと同じではないことに注意してください。

ビューアーの長さ属性

必須のビューアーの高さ属性 (Height) によって、ビューアーの高さがピクセル単位で決まります。ビューアーのサイズは必ずしもイメージと同じではないことに注意してください。

スタイル属性

オプションのスタイル属性 (OPXVStyle) は、OpenPix ツールバーの位置と動作を指定します。ツールバーは Web ページ上に表示され、イメージを操作できます。ツールバーの外観と機能は、ビューアーおよびツールバーのスタイルに応じて少しずつ異なります。通常、ツールバーには、ズーム・イン、ズーム・アウト、パン、印刷、リセット、ヘルプのボタンがあります。

デフォルトのスタイル属性は、Bottom に設定されています。HTML 文書のスタイル属性はすべて（デフォルトまたは明示的に指定されたもの)、サーバー・レベルでの選択で上書きできます。詳細は、『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』の第 3 章「最適化配送 (Adaptive Delivery) サービスの設定」を参照してください。

スタイル属性の設定可能な値は次の通りです。

Bottom　ツールバーはビューアーの底部にイメージと重なって表示されます。

PopUp　カーソルがイメージの上にあるときにのみ、ツールバーが表示されます。ツールバーはビューアーの底部にイメージと重なって表示されます。

None　ツールバーは表示されません。しかし ActiveX ビューアーと Netscape ビューアーでは、イメージが右クリックされるとプルダウン・メニューが表示されます。メニューには、「Pan」、「Zoom In」、「Zoom Out」、「Return to Initial View」、「Print」、「Help」のオプションが含まれます (Java ビューアーではメニューは使用できません。しかし、ユーザーは、マウスを使ってパンとズームを実行できます)。

Under　ツールバーはイメージのすぐ下に表示されます。このツールバーは、OpenPix スクリプト・インタフェースでビューアーにリンクされ、テーブルを使ってイメージに位置合わせされた個別のイメージです (このツールバーは、Java ビューアーに印刷と保存の機能を提供します)。ブラウザによってはネストされたテーブルによって問題が生じることがありますので、この属性のイメージ・タグを HTML テーブルに埋め込むことはお勧めできません。

初期画面表示属性

オプションの初期画面表示属性 (Coords) は、ブラウザで Web ページが開かれたときに表示されるイメージ内の領域を定義します。この属性が指定されていない場合は、イメージ全体が表示されます。

領域は、左上隅の (X,Y) 座標と右下隅の (X,Y) 座標の座標値で定義されます。有効な値はカンマで区切られた、0.0 〜 1.0 の正規化された値です。オーサリング・ツールによっては、画面で確認しながら関心領域を指定することができます。

名前属性

オプションの名前属性 (Name) を使用すると、OpenPix ビューアーの名前を入力できます。名前は、ビューアーのアクションを記述する場合にのみ必要です。名前はページ内で一意でなければなりません。デフォルトの名前は OPX_Viewer です。

背景色属性

オプションの背景色属性 (BGColor) は、ActiveX ビューアーと Java ビューアーの背景色を定義します。値は、標準の RGB カラー定義を示す 6 桁の 16 進数で表します。

代替文属性

オプションの代替文属性 (Alt) は表示できないイメージの代わりに表示される文章を定義します。

水平方向のスペース属性

オプションの水平方向のスペース属性 (Hspace) は、イメージや文章が配置できないビューアーの左右に対するピクセル数を定義します。

垂直方向のスペース属性

オプションの垂直方向のスペース属性 (Vspace) は、イメージや文章が配置できないビューアーの上下に対するピクセル数を定義します。

配置属性

オプションの配置属性 (Align) によって、ページ上のビューアーの位置が決まります。すべての標準位置オプション、Left、Right、Middle、Top、Bottom、Texttop、Absbottom、Absmiddle、Baseline から選択できます。

OpenPix イメージのパス

OpenPix イメージに対するパスの指定方法は、Web サイトの管理者が ISAPI URL マッピングを使用するように ImageIgniter サーバをセットアップするかどうかによって異なります。管理者に Web サイトのディレクトリ構造を確認してください。

URL マッピングが使用可能である場合（デフォルト設定）、Web ルート（仮想ディレクトリも含む）のどのディレクトリにも、OpenPix イメージを配置できます。イメージ・タグのパスは、Web のルート・ディレクトリからの絶対パスか、あるいは HTML ページの位置に対しての相対パスでなければなりません。例えば Web ルートの Content というディレクトリに HTML ページがあり、イメージは Web ルートのディレクトリ Images に格納されているとします。この場合、次のパスのどちらもでも使用できます。

`/Images/picture.fpx`	絶対パスなので正しい。
`../Images/picture.fpx`	HTML ページの位置に対して相対的なので正しい。

URL マッピングが使用できない場合、サーバは管理者が指定したディレクトリで OpenPix イメージを探します。イメージ・タイプごとに指定されたルート・ディレクトリからのイメージの絶対パスを指定しなければなりません。例えば、FlashPix イメージのルート・ディレクトリが C:\images\fpximages の場合、次のパスを使用できます。

`picture.fpx`	パスの残りが推定できるので正しい。
`/picture.fpx`	イメージが、イメージのルート・ディレクトリにあるので正しい。

これらのルート・ディレクトリにサブディレクトリを追加できます。例えば、FlashPix のルート・ディレクトリに Animal というサブディレクトリがあるとします。この場合、次のパスのどちらでも使用できます。

`Animals/picture.fpx`	パスの残りが推定できるので正しい。
`/Animals/picture.fpx`	サブディレクトリが、イメージのルート・ディレクトリにあるので正しい。

OpenPix **に最適化されたイメージ**

作成者が Web ブラウザで HTML 文書を開いてページをテストすることがよくあります。多くのオーサリング・ツールは、同じ処理を実行するプレビュー機能を内蔵しています。

OpenPix コンテンツはイメージの配送に ImageIgniter サーバを必要とするため、OpenPix に最適化されたページをプレビューしても、OpenPix ソース属性で定義されたイメージは表示されません。代わりに、標準のソース属性 (`Src="image_name"`) で参照されるイメージが、FlashPix 形式でない限り表示されます。同様に、OpenPix ページの対話性はブラウザで開くだけではテストできません。例えば、ツールバーが表示されません。

OpenPix に最適化されたページを完全にテストするには、そのページを ImageIgniter サーバに配置しなければなりません。

第 4 章　OpenPix の管理の概略

ImageIgniter サーバは最低限の管理のみ必要とします。OpenPix サービス・マネージャ (OSM) は、必要に応じてシステム・ステータスの監視、診断の実行、バージョン情報の確認、および構成設定の変更を可能にする Web ベースのツールです。OSM のイメージ・レポーターを使えば、サイトのイメージの使用状況を分析できます。

OSM の詳細は、『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』の第 3 章を参照してください。

OSM の起動

OSM はブラウザで開くだけで起動できます。URL は OpenPix が動作しているサーバのホスト名に基づいています。サーバが Server1 と呼ばれている場合、URL は http://Server1/OpxAdm になります。

OSM はパスワード、または Windows NT の標準のセキュリティ規約で保護されます。詳細は『HP OpenPix ImageIgniter 管理者ガイド』を参照してください。

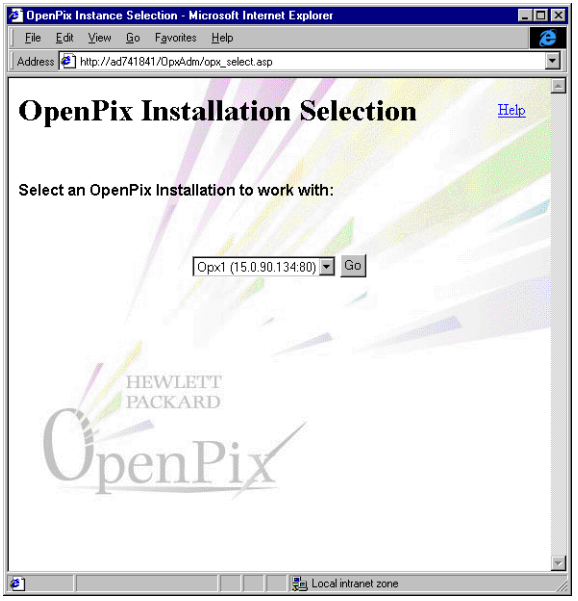
OpenPix はマルチホーム・インストールをサポートしているので、OSM を開いたときに、管理対象のインストールを選択する必要があります。最初に表示される「OpenPix インストールの選択」(OpenPix Installation Selection) ページに、当該サーバの全インストールのプルダウン・リストが表示されます。

OSM の起動方法

1 ブラウザで OSM の URL を入力します。

2 入力を求められたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

ブラウザが「OpenPix インストールの選択」ページを表示します。



3 管理したいインストールを選択します。

OSM の使用

OSM は一連のページで構成されており、それぞれのページが ImageIgniter サーバのさまざまな情報を表示します。情報を表示するだけのページもあれば、構成設定の変更が可能なページもあります。ページ間のナビゲートは、左側の枠にあるナビゲーション・バーで行います。

- 「OpenPix システム・ステータス」(OpenPix System Status) ページは、名前、ホスト名、Web サーバのポートや稼働中のサービスなど、OpenPix インストールに関する読み取り専用の状況情報を表示します。
- 「Internet Imaging Protocol サービスの設定パラメータ」(Internet Imaging Protocol Service Configuration Parameters) ページを使えば、OpenPix イメージの配送を制御するパラメータを設定できます。
- 「フラットイメージ配送 (FID) の設定パラメータ」(Flat Image Delivery Configuration Parameters) ページを使えば、サーバでの JPEG イメージの生成方法と、クライアントへの配送方法を制御するパラメータを設定できます。
- 「最適化配送 (Adaptive Delivery) の設定パラメータ」(Adaptive Delivery Configuration Parameters) ページを使えば、最適化配送 (Adaptive Delivery) サービスが配送するビューアーを決定する方法についてのオプションを設定できます。
- 「ログの設定パラメータ」(Log Configuration Parameters) ページを使えば、OpenPix のイベント・ログに格納される情報の詳細度を制御できます。
- 「イメージ・レポーター」ページを使えば、頻繁に表示、印刷されたイメージ（あるいはイメージの領域）についてのレポートを生成できます。次のセクション「イメージ・レポーターの使用」に、イメージ・レポーターが紹介されています。
- 「診断の実行」ページを使えば、イメージの連続性の診断と最適化配送 (Adaptive Delivery) の診断を実行でき、問題の見極めの手助けになります。

- 「OpenPix ソフトウェアのバージョン」(OpenPix Software Versions) ページは、ImageIgniter サーバの各種コンポーネントのバージョン番号を表示します。
- 「OpenPix インストールの変更」(OpenPix Service Manager Login) ページを使えば、OSM で管理する他の OpenPix インストールを選択できます。
- 「ライセンスの表示」(OpenPix License Information) ページを使えば、当該 ImageIgniter サーバのライセンス・テキストを閲覧できます。

OSM で変更した設定はすべて、保存されるまで有効になりません。変更の後「保存」(Save) ボタンをクリックすると、OSM は変更箇所を確認するページを表示します。変更に関する問題点はすべて、この確認ページにリスト・アップされます。

イメージ・レポーターの使用

OSM イメージ・レポーターは、OpenPix のログから、イメージへのアクセスに関するレポートを生成します。これらのレポートから頻繁に表示、印刷されたイメージ（またはイメージの領域）が分かります。図 4-1 は、イメージ・レポーターのメイン・ページです。

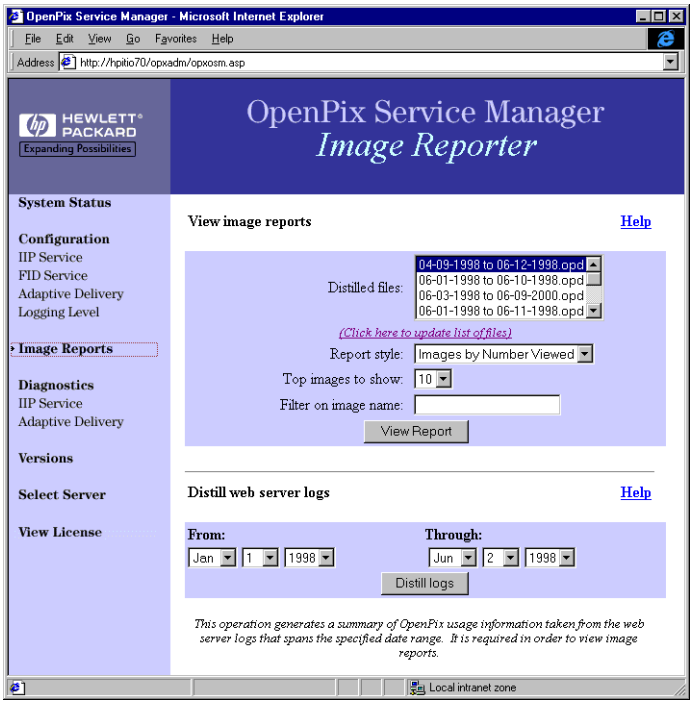


図 4-1　イメージ・レポーターのメイン・ページ

イメージ・レポートの作成プロセスには、ログの抽出とレポートの表示という 2 つの段階があります。

ログの抽出は、ログから生データを取り出し、これを素早くレポートに変更できる形式に変換します。レポートの対象としたい期間を指定してください。

- ログが抽出されたら、表示するレポートを 6 種類の中から選択します。これらのレポートから、頻繁に表示、印刷されたイメージおよびイメージ内のタイルが分かります。

表示されるレポートのフォーマットは、レポートの種類によって異なります。例えば図 4-2 は、アクセス回数の多い上位 10 イメージのイメージ・レポートです。ほとんどのレポートで、より詳細な情報が得られます。図 4-3 は、図 4-2 にリスト・アップされているイメージの 1 つの、アクセス回数の多いタイル (トップ・タイル) についてのレポートです。

図 4-2　イメージ・レポート

図 4-3　**トップ・タイル・レポート**